



＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

肌寒い日が増えてきましたが、ぽかぽかと暖かく穏やかな日もあります。そんな日のことを「小春日和」と言います。秋の終わりから冬の始め頃に掛けての、穏やかで暖かな気候を指す言葉です。日本は季節が大きく変わる国です。細かい季節の変化を表す言葉を大切にしたいですね。



愛媛県小学校陸上運動記録会が松山市で行われ、今治・越智地区の代表として6人の人が出場しました。県内各地から代表選手が集まる中、全員よくがんばり、素晴らしい成績を収めました。努力の積み重ねが、結果に結び付くのですね。



春に向けての花の苗を、環境委員会と、ボランティアの人が植えてくれました。ポットから一つずつ取り出して、プランターに植え替え、最後に水をやりました。暖かくなる頃には、きっときれいな花が咲くでしょう。



2年生の「お話しじゅつかんを作ろう」の研究授業がありました。読んだ本の中で心に残った場面を、上手に相手に紹介していました。発表の仕方や聞き方について、お互いに良かったところを伝え合っていることも良かったですね。



今治城を築いた藤堂高虎は、戦国時代から江戸時代の大名です。「窮屈なる所を好み、楽なる所を嫌うべし」という言葉を残しています。「しんどいことを進んで行い、楽をしてできるようなことはやめなさい」という意味でしょう。高虎は、城づくりの名人として知られていますが、おそらく武術だけでなく、学問や築城の研究にも努力したのでしょう。人は、つい易しい方に流れやすいものですが、それでは自分の夢はかないません。難しいことから逃げず、乗り越えようという気持ちが必要です。

